

実施概要

資料 5

- **日時** 令和5年11月23日（木・祝）13時から15時20分まで
- **場所** 国立オリンピック記念青少年総合センター
- **発表者** 都内在住又は在学の中学生・高校生 19名（活動参加は23名）
- **研究活動** 東京学芸大生のサポートのもと、約3ヶ月半、オンラインを活用して活動



グループ発表概要

① 子供に伝わる自治体広報 ～「ユースヘルスケア」を題材に～

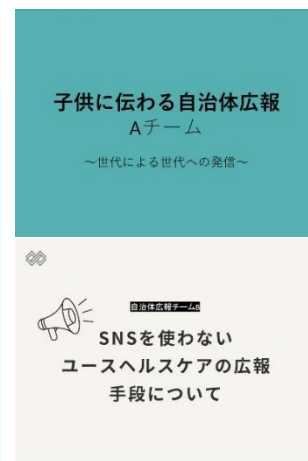
○グループ発表

(グループ1A)

SNSで情報を発信する際の工夫のほか、さらに新聞や放送を活用してホームページに呼び込むため、趣味や推し、地域のイベント情報などを記載した健康新聞を同年代の編集者が作ることを提案

(グループ1B)

SNSを使わない広報として、周りの異なる世代にも認知してもらうことが大切として、保護者向けに学校からの案内の利用、小学生向けにフリーペーパーの作成等を提案



○東京都子供・子育て会議委員との意見交換（河邊副会長、成川委員、吉田委員）

- ・中高生の目線で作る新聞について、どういう呼びかけをしたら参加したいと思われるか？
⇒図書館の自習室などに青春っぽいポスターがあると目に留まるのではないか
- ・他の世代にも目を向けるという発想転換がどうしてできたのか？
⇒SNSは若者の利用が多いが、SNS以外のツールを使う他の世代にもアピールしようと考えた

○担当部署所感

- ・ユースに伝わる広報手段として、「SNS」の有用性を改めて確認できたことに加え、ユース目線からの多様な広報媒体に関する意見を聴くことができ、大変貴重な機会となった。
- ・発表にもあったとおり、「ユースヘルスケア」の浸透にあたっては、ユース自身だけでなく周囲の大人の認知も重要である。いただいた意見も踏まえ、引き続き「伝わる広報」のあり方について検討を進めていく。

グループ発表概要

②チャレンジしてみたい国際交流 ～将来、グローバル社会で活躍するために～

○グループ発表

(グループ2A)

「誰でも気軽に参加できる国際交流イベントの開催」と題し、外国人と日本人の交流の促進等に配慮した、フェス形式の理想の国際交流イベントを企画、発表

(グループ2B)

「ネットの力で国際交流のハードルを下げる」をテーマに、「映画や歌を通じた交流」、「大規模アートを通じた交流」、「ショート動画を使った交流」の3つを提案

理想の国際交流

「チャレンジしてみたい国際交流」
B班

ネットの力で国際交流のハードルを下げよう!

○東京都子供・子育て会議委員との意見交換 (志村委員、八木委員、矢島委員)

- ・もっと学校と連携するべきと指摘していたが、具体的にどのような連携が必要か？
⇒学校の先生から周知したり学校単位で参加したりすることで、安心して参加しやすくなる
- ・国際交流とは何かを議論した際に大事にしたいと思ったことは何か？
⇒オフラインだからこそ感じられる空気感の違い、オンラインは時間の制限なく気軽につながる

○担当部署所感

- ・グループ2Aからは、気軽に参加できる国際交流イベントを考えたいという思いを原動力に、伝統文化の発表、パラスポーツの体験を通じて国際交流をするという提案があった。今後、海外の生徒を招聘する際の交流内容を検討するにあたり、この提案を活かしていきたい。
- ・グループ2Bからは、オンライン上の国際交流についてネットの機能を活用した新しい国際交流の形を提案した。多くの人が趣味で繋がることのできる場を提供したり、動画を撮影して共有するなど、各学校が姉妹校などとオンライン交流をする際のコンテンツの充実に向けて活かしていきたい。

グループ発表概要

③子育てしやすいまち・東京 ～子供や子育て家庭が気軽にお出かけしたくなるには？～

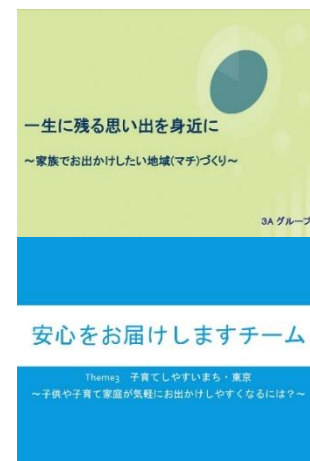
○グループ発表

(グループ3A)

「子育て世代がお出かけしやすい地域を創る」をテーマに、子供たちがポスターを作成するなど、子供が参加しやすい工夫をした地域でのイベント開催を提案

(グループ3B)

「安心をお届けします」をテーマに、お出かけの不安解消に活用できそうな子育て支援の情報を発信している「とうきょう子育てスイッチ」アプリの魅力と改善点、周知の充実について提案



○東京都子供・子育て会議委員との意見交換 (岩崎委員、河邊副会長、松原委員)

- ・植樹のイベントなどで、他地域との連携も視野に入れて実施するためのアイデアはあるか？
⇒地域と地域の境界に植樹を行い、地域全体の一体感を醸成できるとよいのではないか
- ・お出かけ時の不安解消に役立つと思うアプリの機能はどういうものか？
⇒ミルク用のお湯の提供を受けられる場所などの情報は、出かける前に確認できるため、不安解消に役立つのではないか

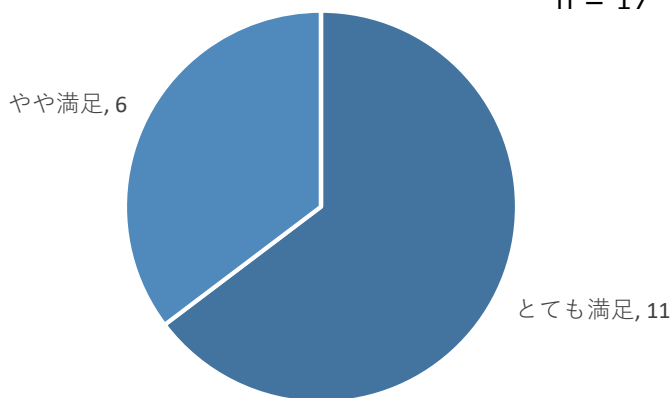
○担当部署所感

- ・子育てという中高生にとっては経験のないテーマにもかかわらず、安心／楽しみを届けるという異なる切り口でそれぞれ検討し、イベントの実施など具体的な提案があった。
- ・「とうきょう子育てスイッチ」の認知度向上のため、今年度広告動画の放映等を実施したところだが、さらに、効果的な周知の方法を検討するため、アンケートを実施している。

参加中高生アンケート結果（抜粋）

○参加したことの満足度

n = 17

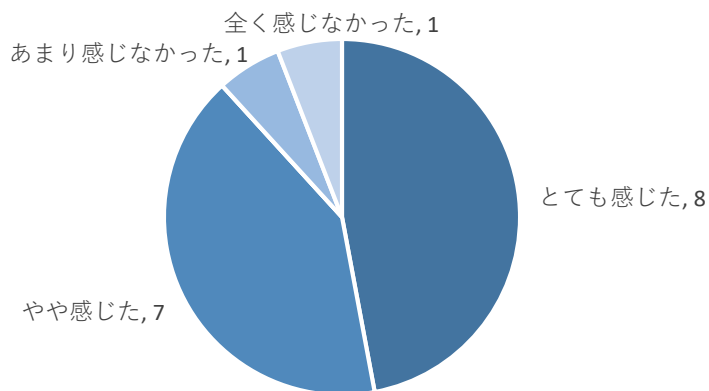


- ・学べたこと、考えたこと、刺激を受けたことが多かった。また、都の職員の方ともお話できたのがよかった。
- ・自分とは歳が違う方と話し合いができたのがすごく新鮮で、話し合っていく中で自分にはなかったアイデアがポンポン出てきてそこだけ視野が少し広まった。
- ・他校や他学年の方と触れ合うことは少ないため、長期間話し合いができるのは貴重であった。

■とても満足 ■やや満足 ■どちらともいえない ■やや不満 ■とても不満

○参加して成長を感じたか

n = 17



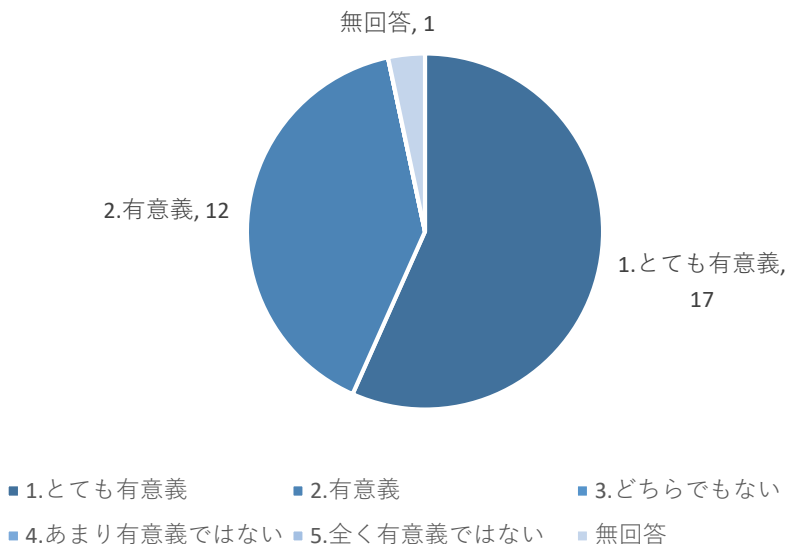
- ・自分たちで発表をどんな風に行うか1から考えて、協力や問題解決能力が身についたと思う。
- ・発表を聞く側の立場に立って原稿やスライドを作ったりし、人前に立つ時に意識すべき点を多く学べた。
- ・ミーティングの中で自分の意見を出すことが得意ではなかったけど、だんだん意見を出せるようになった。
- ・発表という面では、他にもっと大きな舞台で発表したことが何度かあったのでそこまで成長は感じなかった。場数を増やせたという面ではよかった。

■とても感じた ■やや感じた ■どちらともいえない ■あまり感じなかった ■全く感じなかった

来場者アンケート結果（抜粋）

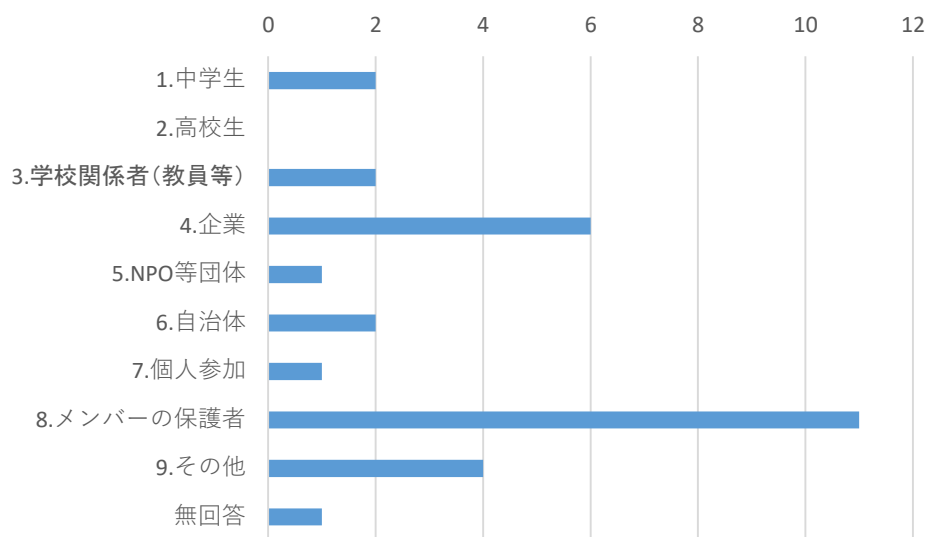
○発表を聞いた感想

n = 30



○来場者の所属等

n = 30



○自由意見

- ・プレゼンは良くまとまっていました。プランも面白いのですが途中で大人からリアルな市場の状態などを教えてあげると、よりリアリティのあるかつ子供ならではのプランになると思いました。
- ・多くのグループがテーマに関する現状調査、課題の抽出、課題の要因の考察、等身大の解決方法の検討について、しっかり行われ、わかりやすく興味深い発表をされていました。
- ・子供の意見を真摯に聞く姿勢で委員の方が対応いただき、一緒になって良いものを作っていこうという雰囲気を感じ、一体感のある進行でした。